

第4. 共同整備のコンセプト

共同浄水場は仙台市と塩竈市が共同で整備を行うものです。整備にあたっては仙台市が掲げる「未来へつなぐ杜の都の水の道 ～市民・事業者との協働～」と、塩竈市が掲げる「安全でおいしい水をいつまでも供給できる水道」を実現し、安全で安定した供給を継続できるような施設整備を目指します。

安全で良質な水を提供する浄水場

- ・水質が変化した際にも浄水処理を停止することなく対応できる浄水処理方法とします。
- ・国が定める水質基準よりもさらに厳しい独自の水質目標を定め、良質な水道水を提供します。

災害に強い浄水場

- ・最新の耐震基準を満たし、地震に強い浄水場を整備します。
- ・導水施設の二重化を行うことにより、非常時のバックアップ機能を強化します。
- ・長期停電やテロなどの危機事象についても、被害を最小限とし安定的な供給を行えるよう必要な対策を講じます。

ともに未来へつなぐ浄水場

- ・市域を超えた広域連携を推進し、両市の水道事業が安定した経営を今後も持続できるよう努めます。
- ・大倉ダムを水源とする仙台市の3浄水場、塩竈市の1浄水場を統合して整備することによって将来の施設の更新費用や維持管理費の縮減を図ります。